

青森・神戸ビジネス交流イベント

REPORT

令和5年3月29日、フジドリームエアラインズ (FDA) の青森・神戸直行便の就航から3周年を迎えました。観光客の相互往来に加え、ビジネス面での交流や連携を推進する取組も進められており、両地域の交流拡大を目的に、令和4年11月と12月、青森と神戸でそれぞれ双方の物産を展示販売し、魅力をPRする交流イベントが開催されました。



物産展会場の各ブースでは多くの神戸市民が足を止め、青森の素材を使った商品に興味を持ち手に取っていました。



ワークショップでオリジナル金魚ねぶたの色付けを楽しみました。

in 神戸

青森・神戸 つながる 交流フェスタ

令和4年12月3日(土)・4日(日)
at 神戸ハーバーランド umie
〈神戸市〉

2つの特設会場で 青森の物産と多彩な魅力をPR

令和4年12月、神戸市において、青森・神戸両地域のビジネス交流の進展状況や特産品の魅力を紹介する「青森・神戸つながる交流フェスタ」が開催されました。物産展会場では、青森県から参加した10企業・団体と神戸市の企業4社がそれぞれ自慢の商品を展示販売。また、PR会場には大型モニターを配したプレゼンテーションエリアが設けられ、青森の風土、観光、伝統、食など多彩な魅力を、美しい映像とともに様々な角度からPRしました。

FDAブースでは、クイズなど楽しい催しを交えながら、青森・神戸線をPR。そのほか、青森県の伝統工芸品である金魚ねぶた

色付け体験のワークショップも行われ、両日とも多くの神戸市民が参加しました。

青森県知事と神戸市長も登壇

2日目には、青森県の三村申吾知事と神戸市の久元喜造市長のトークセッションが行われ、それぞれの地域のPRとともに、ビジネス連携の意義や今後の展望などについて語り合いました。



青森県の三村知事(左)と神戸市の久元市長(右)によるトークセッションが行われ、多くの聴衆の注目を集めました。

良いものを残してきた青森。この連携が、経済、観光、文化により効果をもたらす」とし、久元市長は、「神戸は港から入ってくるいろいろなものを取り入れて発展してきた街。これからは神戸空港からもどんどん入ってくる。神戸の美味しいものも、青森の食材や郷土料理を取り入れていくことでまた進化していく」と連携への期待と展望を語りました。

多くの神戸市民と企業に、青森への知識を深めてもらった2日間。参加した青森の企業からは、「うちの商品に興味を持ってくれたのは神戸の企業とつながりができたのは収穫」、神戸の企業からは、「青森のいろいろな素材を知ることができ、新商品のアイデアのもとになる」などの声が聞かれました。

in 青森

いいべな神戸 ええなあ青森 つながるマルシェ

令和4年11月5日(土)・6日(日)
at エルムの街 ショッピングセンター
〈青森県五所川原市〉

青森での販路開拓に期待 神戸市から12店が出店



神戸の美味しいものいっぱいブースが立ち並び賑わいをみせました。

これに先立ち、令和4年11月、青森県五所川原市で開催された「いいべな神戸ええなあ青森つながるマルシェ」は、神戸市から12店舗、青森から5店舗が出店し、双方の自慢の商品を販売しました。

神戸の企業からは、「どんな商品が人気なのかかわからないので不安もあったが、知名度のない土地での商品の見せ方の勉強になる」、「これを機に青森での知名度をもっと上げていきたい」といった声が、青森の企業からは、「地元のものなので、ここでの売れ行きよりも、今後、神戸で販路を開拓するためのつながりをつくりたい」といった声が聞かれました。

会場には、神戸の観光PRコーナーとFDAのブースも設けられ、神戸市の魅力の紹介や、青森・神戸線の利用拡大に向けたPRを展開。会場は、多くの来場者で賑わいました。

レポートの続きはWebで!

青森・神戸 ビジネス連携

検索



「青森・神戸 ビジネス交流」について、詳しくは青森県庁HPをご覧ください。